



ためになった！部門おすすめ！



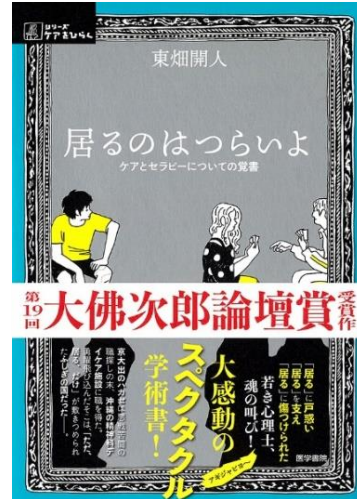
書名：『生き方—人間として一番大切なこと』
著者：稲盛和夫 出版社：サンマーク出版 請求記号：159 イ 所蔵：巢・千

『道標』
私がこの本と出会ったのは今年の夏でした。人生の指針となるものがないかな、と漠然と考えていた頃です。書店の特集コーナーで、タイトルの「生き方」が目に入り込んできました。稲盛和夫氏は、「京セラ」の創業者で誰もが知るどころですが、この著書は自身の人生で培った「生き方」を示してくれています。皆生きていく上で、正しくないを知りつつも心が勝手に人を恨んだり、傷付けたり、悩んだり、落ち込んだり…しかしそんな心に左右されない真の心、人としての原理原則が真摯に記されていて、この本は今でも私の「道標」になっています。

【おすすめした人 トンスケさん】

書名：『居るのはつらいよ—ケアとセラピーについての覚書—』
著者：東畑開人 出版社：医学書院 請求記号：146 ト 所蔵：中・巢・目

『ケアとセラピーについて学んで、自分の居場所を見つけよう！』
臨床心理学を大学で学び、博士号をとったものの、現場で実践することなくアカデミアで働くことに疑問を持つところからはじまります。著者は意気込んで沖縄の病院で働きはじめるのですが、とまどうことばかり。最初に、セラピーとは何か。ケアとは何かで悩んでしまう。
私はセラピーとケアの違いが何かと考えたこともなかった。心の深層に取り組むセラピーに対して、ケアは日常の様々な困りごとに対処していく。ケアすることもケアされることもとても大事な事。まずはケア、それからセラピー。そして「ここにいたい」と思う場所が見つかる。【おすすめした人 こだまさん】



書名：『ウソ？ホント？トリックを見やぶれ3 よく考えて！説明のトリック—情報・ニセ科学—』
著者：市村均・曾木誠・伊東浩司 出版社：岩崎書店
請求記号：116 所蔵：中・巢



『誰かの言いなりになっていませんか？「騙す人の立場」に立って現状をしかと見てみよう！』
人は騙される。特に、「綺麗に、鮮やかに、見事に」騙された時ほど…人は、それを認めがらないようだ(∇^∇^)
この心理を、更に詐欺師は利用する。
『いいや…！！私は利口だ。騙されなぞしない！』…という人に近づく、身なりの良い“善人”。エッフェル塔を”とても信頼できる”紳士に何億も騙し取られた話は必見。特に、(何ページか忘れたが)騙す人が使うテクニックが面白い。
・決断を迫る。
・権威を使う。(国連が～厚生労働省が～東大が～)
・とても身なりの良い服装をしている。…etc.
知識を得て、対等に立ち向かおう。【おすすめした人 わしじゃ空じいじゃさん】

豊島区立目白図書館

わたしのイチオシ本！ 図書だより

本を読んで、感動した！ハマった！ためになった！

その気持ちを、図書館を通して誰かにおすすめしませんか？

「わたしのイチオシ本！」は当館で実施した書籍紹介イベントです。「感動した！」「ハマった！」「ためになった！」の3部門へ、皆さまからのおすすめ本を募集し、来館者の方々に投票いただきました。

応募総数61枚のアツいイチオシ本の中から、人気の高かった本に加え、ぜひ読んでほしい本を各部門から選び、図書だよりにまとめました。あなたの気になる本はありましたか？

イベント概要

募集期間：11/1～11/31

応募総数：61名

Special Thanks! 西池袋中学校図書委員会の皆さん

織田博子さん (マンガ家・イラストレーター)



感動した！部門おすすめ！

書名：『家守綺譚』
著者：梨木香歩 出版社：新潮社
請求記号：ナシ・YBナ・Bナ 所蔵：中・巢・池・目



『日本人のDNAが刺激される、まるで古事記のような物語』
時は明治。売れない文筆家、綿貫は湖で行方不明になった学友、高堂の実家の管理を任される。すると夜半、床の間の湖畔を描いた掛け軸の中から、亡くなったはずの高堂がボートに乗ってやって来る…と書くとホラー小説のようだが然に非ず。高堂のみならず、小鬼に河童、半人半魚の鮎、主人公に恋するサルスベリ…時に愉快で、ちょっぴり不気味な者たちが次々と訪れる。驚きつつも怪異を受け入れる綿貫のなんと大らかなことか（あるいは天然）。四季の彩を背景に、美しい文体で綴られる物語は神話のようで、切なさや慈愛に溢れているのです。

【おすすめした人 古山冬日さん】

書名：『かがみの孤城』
著者：辻村深月 出版社：ポプラ社
請求記号：ツジ・Bツ 所蔵：中・駒・目・上・池・巢・千

『離れていても、ずっと友達』
主人公の安西こころは、いじめが原因で不登校になってしまいました。なんて暗い話なんだろう…と思いました。そんなある日、こころの部屋の鏡が光だしたので。鏡の中へ吸い込まれるとそこには大きな城が！最初の暗い展開から一変、ファンタジーの世界へ引き込まれました。城には狼の面をかぶった少女“オオカミさま”と6人の少年少女が。城、オオカミさま、6人の少年少女にはそれぞれ秘密が。一人一人の秘密が明かされ、深まってくみんなの絆。そんな時に城にアクシデントが！想像もつかない展開に胸が熱くなります！【おすすめした人 きのこさん】



書名：『わたしのペンは鳥の翼』
訳：古屋美登里 出版社：小学館 請求記号：929.9ワ 所蔵：中

『人はどんな辛いことも、物語があれば乗り越えられる』
アフガニスタンに住む女性は、遠出の外出を禁じられたり、全身を覆う服の着用を義務付けられるなど、人権のない日々を送っています。そのような世界の中で、女性が自分の考えを表現するという事は、命がけです。しかし、そんな状況でも、人は物語を紡ぎ、伝えていきます。
この本は2回翻訳されたために、冷たい翻訳長の記事になっています。しかしだからこそ、不思議な普遍性をもって私たちの心に迫ってきます。
化粧をして職場に向かい、同僚と話をしている女性が、次の瞬間にロケット弾が破裂する音を聞く。アフガニスタン女性たちの現実が淡々と描かれます。

【おすすめした人 織田博子さん】



ハマった！部門おすすめ！



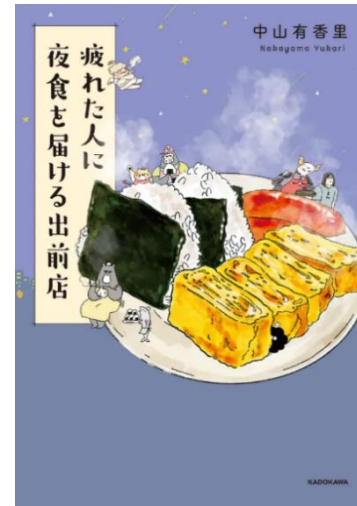
書名：『京のかたな旅 2022 髭丸、膝丸、三日月宗近、一期一振…名刀ゆかりの地を巡る』
出版社：ホビージャパン 請求記号：756.6キ 所蔵：中

『そうだ、京都の一人旅いこう』
京都へ行ってみよう。
でもお寺には全く興味がない。どうしよう、というときに、ゲーム「刀剣乱舞」にはまってしまい、刀を見に京都へ行けばいいんだな、とかいうことになった時に、とても参考になりました。
通常のガイドブックではのっていない刀の博物館や所蔵神社だけでなく、近くの甘味処や御朱印、おみやげなど知りたい情報盛りだくさんでした。
本の後半には見開きフルカラーで刀身の写真、刀の観賞ポイントものっており、初心者にもお勧めです。次回は京都国立博物館の桑名江を見に行きたいです。

【おすすめした人 こあこあさん】



書名：『疲れた人に夜食を届ける出前店』
著者：中山有香里 出版社：KADOKAWA
請求記号：596ナ 所蔵：千



『泣ける料理本』
とある町の片隅に、夜食を届ける出前店がある。そこで働いているのは、料理上手なクマヤサケ、ゴリラやネコだ。彼らは、疲れた人々の元に、愛情のこもったあたたかい料理やスイーツと一緒に心によりそうサービスも届けてくれる。彼らの他に、悪魔めしをすすめる天使や健康に気を配るおかんめしを作ってくれる魔王まで登場し、気になってページをめくる手がとまらない。
イラスト満載の夜食レシピが46のっていて、作ってみたいと思う。でも、クマヤサケさんに、夜食を届けてほしい～!!【おすすめした人 火曜日の焼きうどんさん】

書名：『テンペスト』
著者：シェイクスピア 訳：松岡和子 出版社：筑摩書房
請求記号：932.5シ・Bシ 所蔵：中・駒

『400年前のジェットコースターストーリー』
「えっ？シェイクスピア？なんか難しそう。」と思ったその君！いいえ、全く難しくありません。この本はカオスに始まりカオスで終わる。ロミオとジュリエットの作者と同一人物が書いたとは思えない秀逸さ。物語の舞台は「無人島」。そこに住む美しい女性と、遭難してしまった王子が恋に落ちるのですが、この恋はある人のある計画の一部に過ぎなかったのです…。最後の最後に思ってもみなかった大どんでん返しが待ち受けるこの物語。王子のアプローチにキュンキュンしたい人、何も考えず読みたい人など、色んな方におすすめできる作品です！

【おすすめした人 坂田裕奈さん】

